

今後の会議の進め方

～食品ロス削減・東京方式の確立に向けて～

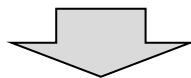
1 これまでの取組

都は、食品ロス削減に向け、これまで賞味期限の長い加工食品を中心に、会議で取組を議論し、食品ロスもつたいないフェスタなどの協働の取組を行ってきたところである。

2 今後の会議の進め方

ステークホルダーとの議論や協働の成果を「食品ロス削減・東京方式」に反映していくため、都は今後、次のように会議を進めていく。

- これまで議論の対象としていない外食や日配品を追加し、食品ロス削減に向けた取組を議論し、協働内容を検討
- 店頭キャンペーンなどの機会を通じ、パートナーシップ会議における具体的な協働を推進

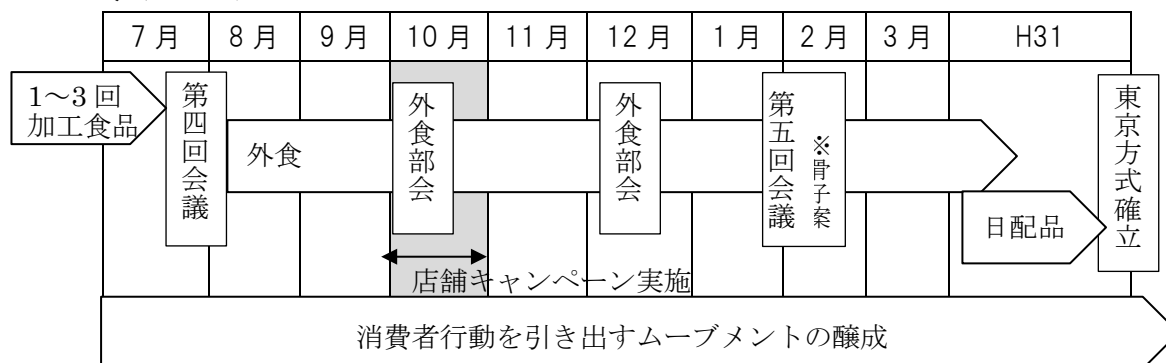


都は、パートナーシップ会議での議論や取組の経験を今後の食品ロス削減に活用するため、得られた知見をドキュメントにまとめていく。

3 食品ロス削減・東京方式の確立に向けて

都は、食品ロス削減に向けた消費者の行動を引き出すべくムーブメントを醸成していく一方、パートナーシップ会議の知見や都独自の実態調査などを行い、東京方式の核ともなる「食品ロス削減行動プラン（仮称）」を策定していく。

4 スケジュール



第5回会議を目途に「食品ロス削減行動プラン（仮称）」の骨子を示し、平成31年度末に策定し、「食品ロス削減・東京方式」を確立していく。